

せたがや 町総連だより

第56号

発行 世田谷区町会総連合会

世田谷区若林4-31-9 ポライト第2ビル202

☎・FAX 5481-3456

編集 情報誌編集委員会

編集委員長 堀江 義之

あけましておめでとうございます

世田谷区町会総連合会 会長 三 羽 和 彦



会員のみなさま、おだやかな新年をおむかえのこととお慶び申し上げます。

町会総連合会の事業につきましては日頃より格別のご高配を賜りありがとうございます。

私が本会の会長に就任してからも、町会・自治会の仲間の皆様にはいろいろとお世話になりまして重ね重ね御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染についてはいまひとつ明確な方向が見えて来ません。ただ、いままでの感染予防対策のご協力が欠かせなかったことは間違いありません。引き続きしっかりと感染対策が必要であると考えます。

こうした中、町会・自治会のイベントが開催されたという声が聞かれるようになりました。地域ごとにいろいろな団体と力を合わせて開催され、子供から高齢者まで楽しんでいただいているようです。

全部で192の町会・自治会が当総連合会に加入していますが、こうしたイベントなどの情報交換や町会・自治会どうしの親睦、連絡調整は大切なことと考えて

おります。また、それぞれの町会・自治会ごとにそれぞれの課題があることと思われませんが、みんなで力を合わせて対応することも重要なことです。

～町会・自治会活動へご参加ください～

安全で安心な明るく住みよいまちをつくるため「知り合い」「ふれあい」「支えあい」の理念のもとに私たちは活動しています。未だ町会・自治会活動に未加入の方、本誌をお読みになったことを機会に是非ご参加ください。地震、災害、子供の登下校、ご近所づきあい…暮らしの課題を私たちと一緒に考えてゆきましょう。

そして、今、町会・自治会活動にご参加いただいている方、これからもどうぞよろしくお願いします。結びとなりましたが、本年一年の皆様が健康で幸いものとなりますことをお祈り申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

新年挨拶

世田谷区長 保 坂 展 人



新しい年の始まりをおだやかに迎えられましたこととお慶びを申し上げます。

旧年中は区政の推進にあたり、多大なるご尽力をいただきまして、誠にありがとうございました。

約3年に及ぶコロナ禍においても、町会・自治会の皆様が独自の工夫を凝らし、地域交流、防災、交通安全、環境美化などの様々な活動で地域を支え続けていただいております。深く敬意を表します。皆様の活動が、世田谷区の地域コミュニティの基盤になっています。ご苦労も多いかと思いますが、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

区は、昨年で区制施行90周年を迎えました。10月16日に人見記念講堂で開催した記念式典・記念イベントには、1,500人以上の方にご来場いただき、有意義な式典と熱気ある記念イベントとなりました。

地域を大切に温かく互いを思いやる「世田谷らしさ」を財産に、10年後の区制100周年に向けて着実に歩んでいきたいと思っております。

さて、平成3年に区独自の地域行政制度を導入してから30年余りが経過しました。社会情勢が大きく変化中、災害への備えや高齢者や子どもへの支援など

多様な地域課題の解決に向けて、身近なところでの区民生活の支援の必要性が高まっていることから、昨年10月に地域行政推進条例を制定しました。

まちづくりセンター・総合支所・本庁の三層における行政の体制強化を図り、地区及び地域の実態に即した総合的な行政サービス及びまちづくりを推進し、安全・安心で暮らしやすい地域社会を実現することを目的としています。

この条例では、まちづくりセンターを「区民生活を包括的に支援する地区の行政拠点」として位置づけ、多様な相談・手続きに対応する窓口を担います。また、地区のコーディネーターとして、町会・自治会の皆様とまちづくりセンターが、これからはしっかりと連携してまちづくりに取り組めるよう、区として最大限努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

結びに、世田谷区町会総連合会の益々のご発展と、会員の皆様にとりまして健康で幸多き一年になりますことを心からお祈り申し上げまして、新春のご挨拶とさせていただきます。

地域情報

砧 地 域

私の影のフィクサー「ゲンちゃん」

法人格成城自治会 会長 岩 波 桂 三

ゲンちゃん、東日本大震災の被災犬で、私ども家族が大切にしていたワンちゃんです。大きなピレネー犬、フランスとスペインの間にそびえるピレネー山脈を発生地の地とする牧羊犬です。



引き取ってまもなく、散歩中、まだ歩けない。

1. ゲンちゃんとの出会い

2011年3月11日14時46分、私は皇居お堀端の近くの法務省あたりを皇居に向かって歩いておりました。と、足元が大きく揺れたのです。近くの街路樹にすがって揺れの収まるのを待ちました。しばらくして揺れが収まり、用足し先に行きましたら「今日は中止にしましょう」ということで、総務省前に差し掛かった時、ビックリしました。あれほど身が震えたことはありません。大きなスクリーンにあの忌まわしい光景が、今起きている現実にはしばらく呆然と立ちつくしてしまいました。いつしか、我が家に向かって6時間。青山通り、246号、世田谷通りと歩いて行くうちにあることに気づきました。帰宅する人々の流れが、蟻と同じ行列を作って、まるで何回も練習したかのように整然と動いているのです。大声を出す人もいません。ぶつかりあうと、お互いにすみません。このような光景は見たことありません。あの足元をすくわれるような揺れ、津波が町を飲み込んでいく凄まじい光景とともに一生忘れないと思います。

それから半年ほど過ぎたころ、友人からの電話で「ベンちゃんと同じピレネー犬が保護されているよ」。ベンちゃんと言うのは、この5年ほど前に亡くなった飼っていた犬のピレネー犬。電話のあった翌日、いわき市にある被災犬保護センターにおりました。「えっ、これがピレネー犬」と感じたほど、みすばらしく痩せていて

普通60kg以上あるはずの体重が30kgを切っていました。瓦礫の中を4ヶ月も放浪していたとのこと。2時間ほどしてそのピレちゃんをつれて我が家に向かって車を走らせていました。保護センターでの名前は「たま」。「エー、猫じゃないんだからさあー」ワンちゃんにとって不治の病フィラリヤにもかかっているの引き取っても長くは生きられないとのこと。「じゃー、元気になれるように元気にしよう」ということで、名前は、岩波元気としました。

数日後、ベンちゃんも通っていた東京農工大学の動物病院で健康診断をしてもらいました。その結果、栄養失調、腎不全など7つもの病気にかかっているとのこと。悲痛な思いをしましたが先生が、2年で全部治しますとおっしゃるのです。新しい治療法が開発されていたのです。大変嬉しかったです。それから散歩は台車に載せて。2か月くらいから自分で歩くようになって、2年経ったら先生の計画通り、全ての病気はなくなり、体重も65kg、立派なピレネー犬になっていました。

2. ゲンちゃんの残してくれたもの

被災犬保護センターでゲンちゃんの引き取り手続きを家内がしている最中、何人かの方に東日本大震災について多くのお話をうかがいました。成城は大丈夫なのだろうか。帰京してからずっと気になって、成城で行っている災害対策活動について調べてみました。ザックリ、避難所訓練と備蓄、耐震化、家具転倒防止等が行政指導で行われているだけでしかも住民に対しての徹底が不足しているということが見えてきました。更に、阪神淡路大震災の時、亡くなられた方の80%が14分以内に亡くなっておられるというデータを見て、発災直後に命の危険にさらされている人を見つけ出し



引き取って5年くらいの時

て救助する必要があるということに行きついたので。また、大震災が発生したら、公的機関は3日間活動できないといったことも出てきました。そこで、「命を助ける」活動ができないかについて調査し、現在成城地域で行われている災害対策活動、「大災害発生時住民行動マニュアル」の作成に取り掛かり、半年後の2012年7月の成城自治会役員会にて承認され、災害対策プロジェクトチームを誕生させました。

マニュアルの概要は、発災した時、まず自分の命を守り、自分の命が守れたら家の中にいる人の安否を確認し、全員無事であれば火気等のチェック後、通りから良く見えるところにミドリの安否確認標識を掲示し、自分の番地内を一周して、標識の出ていない家があったら、大声で人を呼び、家の中をチェックしてもらう。自分はチェックを継続する。すでに誰かが番地内チェックをし終わっていたら、救命救助の必要などところは無いか見まわし、なければ道路に緊急車両の通過に支障となるものがあれば片付ける、それが終わったら声

がかかるまで家の片づけ等を行う。と言った流れです。3月11日と9月1日の年2回訓練を行っていますが、10年を経過して参加率は戸建てで約60%。もう少しと言うところ。この災害対策訓練を世田谷全体で行いませんか？命を守り、命の大切さを学んで人々をつなげる訓練です。やってみようと思われる町会自治会さんは、ご連絡ください。

ゲンちゃんが亡くなって2年になりますが、この活動のマスコットとして紙芝居などでも語り継がれ、自治会長の私よりも町のために貢献しているまさに影のフィクサーであると思います。



安否確認標識 緑の標識

烏山地域

上北沢地区の今とこれからの街

上北沢地区町会自治会連合会 会長 新井 貞次

上北沢地区は、上北沢1丁目自治会、上北沢町会、八幡山町会、都営八幡山アパート自治会で構成された住民組織で、上北沢まちづくりセンターを活動母体として自主的な町内活動を行っています。

また、区とは避難行動要支援者事業について協定を締結し町会・自治会が見守り活動を行うなどの協力関係にあります。この見守り活動は、上北沢まちづくりセンター、上北沢あんしんすこやかセンター、上北沢地区社会福祉協議会、そして私たち地域町会・自治会とが情報を共有しながら行っています。

活動行事として、通常であれば、4月の桜まつり、5月の総会、8月の盆踊り大会、9月には避難所運営訓練・地区防災訓練を八幡山小学校、上北沢小学校にて、そして八幡山鎮座八幡社祭礼、10月には上北沢山

谷稲荷神社祭礼、自由広場（將軍池公園）でのフリーマーケットや舞台発表、烏山地域のマスコット（からびょん）登壇等、盛大に行われていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために3年程中止しております。こうした中、令和4年9月23日にはお囃子の屋台の綱を大勢で引いて華やかに巡行を行い、10月9日には上北沢山谷稲荷神社祭礼を2部に分け上北沢商店街を久しぶりに神輿巡行を行い盛り上がりしました。

新型コロナウイルス感染症は収束の見通しが不透明な為、各イベントを実行することができず、地域の皆様とコミュニケーションが取れないことを残念に思いつつ、1日も早く戻れることを願っています。



八幡山鎮座八幡社 神輿巡業



世田谷百景に選ばれた さくら並木

◎これからの街◎

上北沢地区は京王線上北沢駅と八幡山駅が最寄り駅です。八幡山駅は快速が止まり、令和3年度の1日平均の乗降客数32,793人で、最近は増えているようです。

京王電鉄京王線（笹塚駅～仙川駅）の連続立体交差事業は認可期間が当初より8年間延伸することとなりました（令和13年3月末事業完了予定）。この事業に伴い、上北沢周辺地区街づくり協議会（会長：新井貞次）が立ち上がりました。

街づくりの基本方針の主な項目は次のとおりです。

- (1) 京王線の連続立体交差事業にあわせ、駅周辺は地区生活拠点にふさわしい街の中心として、商業機能の充実を図るなどにより街の顔の形成を図る。
- (2) 歩行者が安全で快適に通行できる街にすることを基本とする。
- (3) 上北沢地区の桜並木を含む住宅地を保全し、緑豊かな歩行者系ネットワークの充実に努める。

上北沢駅南側の付け替え道路（側道）工事のために近いうちに測量が始まります。高架化になるまでは相当先とのことです。今後も京王電鉄、東京都、世田谷区と連携し住みやすい街づくりに取り組んでいきます。

ところで、八幡山駅に近い、全国に有名な東京都立

松沢病院の敷地は東京ドーム4個分と聞いています。

今、この敷地に次の4つの施設があります。①東京都立松沢病院 ②同：医療観察法病棟 ③公益財団法人東京都医学総合研究所 ④東京都立中部総合精神保健福祉センター

松沢病院敷地には次の施設が建設予定です。①東京都立広尾看護専門学校 仮設校舎（これから約10年使用）②世田谷消防署上北沢出張所（上北沢1丁目から移転）

このほか、上北沢5丁目の元松原青果市場跡地を活用した、東京都水道局上北沢給水所（仮称）建設工事（工期予定：平成30年5月～令和5年3月）があります。この建設工事にあたっては、整備に関する要望書を提出しました（平成26年8月）。

- (1) 施設周辺には植栽を整備すると共に、景観に配慮したフェンスを設置すること。
- (2) 応急給水施設については、震災時や事故時に地域住民が使いやすいように整備すること。
- (3) 給水所（仮称）西側区道の歩道整備に協力すること。

こうしたことの積み重ねで、上北沢地区が数年後にはより一層すばらしい街、住民の住みやすい街となることを願っています。

町総連ニュース

表彰

▼令和4年10月1日

東京都功労者表彰

額賀 安平 常任理事（大原西町会 会長）

新井 貞次 常任理事（上北沢町会 会長）

塩谷 良一 理事（奥沢交和会 理事長）

▼令和4年12月13日

厚生労働大臣表彰

鈴木 賢治 副会長（宮坂1・2丁目町会 会長）

※次号は世田谷地域・北沢地域・玉川地域の情報を掲載します。

編集後記

紅葉黄葉に彩られた街路樹も季節の移ろいを見せています。コロナ禍の中様々な制約を受けてきましたが「せたがや町総連だより」56号の編集会議を漸く対面で開くことが出来ました。初対面での緊張感は、どこことなく懐かしさも感じる新鮮なものでした。

世田谷区にある町会・自治会の一つひとつを紹介するという途方もない作業に気後れさえ感じてしまいましたが、原稿を寄せていただいた方々の熱い思いは読者の皆さまに直球でお伝え出来たらいとお考えております。

願わくは、わが町を振り返ってみて熱く語れるところを探していただけると、「だより」を発行した甲斐があるというものです。

そして「あ、ここに行ってみた！」と思って頂けるような魅力のあることを紹介していきたい、と新米編集者は秘かな野望の卵を胸に温めています。

編集委員 東深沢町会 山本 紀子

世田谷区町会総連合会のホームページ

世田谷区町会

検索

※二次元コード



スマートフォン等で読み取って、簡単にホームページを見ることができます。